

市民と議会を結ぶ架け橋

# 上野原市 議会だより

  
No.56  
平成31年  
2月発行

12月定例会



特集

うえのはらで頑張る人  
食生活改善推進員会

特集	2
新年のあいさつ	4
定例会で決まった主なこと	5
委員会活動	7
一般質問	11
議決結果等一覧	15
市民の声	16



## うえのはらで頑張る人 vol.9 食生活改善推進員会



健康寿命の延伸、食育の推進、家庭と地域社会の健康文化のまちづくりに努め、年間を通してパワフルに活動する皆さんにお話を伺いました。

自分づくり、人づくり、地域づくり  
「私たちの健康は私たちの手で」

いつから活動していますか



■ 昭和44年、健康保持増進を積極的に推進する目的で養成講習が行われました。これをきっかけに生まれました。  
■ 今年で49年、現在会員数市内12支部73名で支部独自の活動をしています。

どんな活動をしていますか



■ 市の事業で、夏休みワクワククッキング教室、市内駅伝競走大会でのトン汁作り（1200食）や市健康づくり協議会への参加や、高齢者・男性のための料理など、生活習慣病

予防のための料理教室、郷土料理の普及など様々です。

■ 介護食、シニア・カフェ、災害時における食事支援や健康まつり試食レシピの配布などの活動も行っていきます。

大変なことはありませんか

■ 新しい取り組みの時には準備が必要で、本番までに3回集まって試作し、段取りが必要なことです。



■ 支部の会員が減ってきて、活動を休んでいる支部もあります。毎年数名

が減少し、活動が思うようにこなせなくなっています。

活動を通してよかったことは

■ 22年に厚生労働大臣賞を受賞し、また市より駅伝競走大会への長年の協力に対する感謝状をいただいたことが励みになっています。



■ 食品についての知識が得られ、減塩・成分・栄養

などについても学ぶことができました。

■ みんなと一緒に楽しく料理ができるし、たくさんメニューを覚えることができます。

■ 日帰りの研修旅行やグラウンドゴルフ、ヨガなどをして楽しんでいます。



議会を傍聴したことは？

■ (何人かの方が、行ったことがある、との声) 今度、みんなと一緒に傍聴に行きましょう。

取材を終えて

平均年齢が65歳以上とは思えないほど、精力的な活動をされており、そのパワーに圧倒されました。ベテラン主婦である会員の皆様には、これからも身近なところで住民の食育・食生活のアドバイス等を通して、まちづくり・地域づくりに力を注いでいただきたいと思います。改めて感じました。



新年のあいさつ

## 謹んで新年のごあいさつを申し上げます



市議会議長 田中英明

市民の皆様方には、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、大阪北部地震や北海道胆振東部地震、死者・行方不明者230名という惨事となった西日本豪雨、そして記録的猛暑や台風などによる災害の年であったと思います。

特に9月末の台風24号では、本市も強風による被害が相次ぎ、甲東地区の棚頭や和見では市道沿いの斜面の倒木や土砂崩れにより1週間近くの停電と通行止めが続くなど、大変不便な

思いやご心配をおかけしたところでもあります。

大規模災害が発災した場合、先ずご自身が無事でいなければ家族やご近所の方を助けることはできません。

日頃から、不測の事態に備えた準備をお願いいたします。

高齢化が一層進み、人口減少による地域の弱体化と併せ、山間地を多く抱える本市にとって、独居老人や老老介護、買い物難民といった世帯の孤立化が切実な課題となっております。

私ども市議会も市民の皆様の声を真摯に受け止め、地域コミュニティを大切にした共生社会の実現のため、活動に取り組んでまいります。市民の皆様には、本市の限らない発展のため引き続きご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますことを祈念し、年頭のあいさつといたします。

## 第2回臨時会

30年10月30日、市議会第2回臨時会が開催されました。提出された議案は、左記の補正予算2件でした。主なものは、台風21号及び24号で発生した土砂崩落に伴う災害復旧関連の増額補正です。

### 議案第101号

30年度一般会計補正予算（第4号）

民生費	577万7千円
商工費	500万4千円
教育費	133万7千円
災害復旧費	1億7729万3千円

### 議案第102号

30年度簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

災害復旧費	648万6千円
-------	---------

2議案とも全会一致で可決されました。

# 定例会で決まった主なこと



## 条例制定

### 秋山簡易水道料金の値上げが行われます

市の将来の安定した給水事業を行うためと、公平性の観点から簡易水道料金を見直すことになりました。市は、秋山・仲間川簡易水道、広域水道企業団の三系統で給水されています。今回秋山簡易水道水道料金体系を大幅改定するため、新たに条例制定したものです。

議案第104号 上野原市秋山簡易水道事業給水条例制定

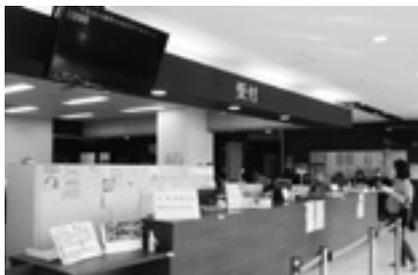
## 12月定例会 定例会で決まった 主なこと

平成30年11月27日(火)から12月12日(水)までの16日間の会期で開催されました。

### 審議された議案

市長提出議案	28件
発議	2件
計	30件

※ 議案名・議決結果等は15ページをご覧ください。



## 条例制定

### 子ども医療費助成制度の対象年齢を31年4月1日から18歳まで引き上げ

この条例改正は、今までの満15歳までの子ども医療費助成制度を満18歳まで引き上げ、拡充するものです。県下では南アルプス市、都留市に続くもので、保護者の経済的負担等の軽減が図られると期待できます。ただこの改正では、一時的に医療費の窓口負担が発生するため、現行の制度と同様に、窓口無料化が出来るように本会議の附帯決議としました。

議案第110号 上野原市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定

## 条例制定

### 組織改編で危機管理室、子育て保健課などを新設

巨大地震や甚大な被害をもたらす自然災害に対応するための「危機管理室」や、子育て施策に注力するために「子育て保健課」を新設します。市民が課名から仕事の内容を理解できるように再編し、現在の4部15課から4部1室15課に組織改編、部、室及び課等の名称や所掌する事務が変更されます。

議案第108号 上野原市行政組織条例等の一部を改正する条例制定

条例制定

議案第111号 上野原市へき地保育所条例を廃止する条例制定

桐原保育所、西原保育所（休園中）が閉園となります



桐原保育所が3月末日で閉園となります。西原保育園も休園中だったので、へき地保育所がなくなるため、へき地保育所条例を廃止します。

議案第126号 上野原市職員給与条例の一部を改正する条例制定

条例制定

人事院勧告等に基づき市職員給与条例の一部を改正

- ① 日直手当 勤務1回の支給限度額200円引き上げ
- ② 給与表 初任給1500円、若年層1000円、その他400円程度引き上げ
- ③ 特別給 30年12月期の勤勉手当支給割合0.05ヶ月引き上げ
- ④ 扶養手当 配偶者手当を月額3500円引き下げ
- ⑤ 期末勤勉手当 31年6月期以降の期末手当1.3ヶ月、勤勉手当0.925ヶ月に改定

指定管理

議案第120号、議案第122号

指定管理者の指定

農産物加工施設

市農産物加工施設を活用し、キヌアの地域特産化を図るため、(株)Factoryを指定管理者に指定しました。

市営マス釣場

指定管理の期限が切れるため、新たに静岡ビル保養(株)を、指定管理者に指定しました。

市立上野原スポーツブラザ市民プール

指定管理の期限が切れるため、新たに(株)スポーツブラザ報徳を、指定管理者に指定しました。

議案第123号、第125号

人事案件

甲東財産区管理委員会委員の選任の同意と人権擁護委員候補者の推薦

甲東財産区管理委員会委員

軽澤祥文氏の選任について、全会一致で同意とすることになりました。

人権擁護委員

中村秀樹氏・高橋史子氏の2名の推薦について、全会一致で適任とすることになりました。

総務産業常任委員会

委員長 喜長 幸夫  
 副委員長 岡部 秀雄  
 委員 川島 純文  
 白杉 公英  
 田中 友栄  
 杉本 一  
 杉本 友一  
 鷹取 偉重  
 尾形 重

閉会中の継続調査として、県の職員と猟友会を招き、「有害鳥獣被害の現状と対応策について」説明を受け、その後秋山地区浜沢に向き、鳥獣防護柵設置状況の現地視察を行いました。

県みどり自然課によると、野生鳥獣による被害は全国的な問題となっており、国が抜本的な鳥獣捕獲強化策を講じたため、県もそれを踏まえた事業計画を策定したとのことでした。

また、富士・東部農務事務所



によると、山梨県内の農作物の被害額は減少傾向にあるが、これには家庭菜園等の数字は含まれていないため、一概に被害が減っているとは言えず、今後対策が必要とのことでした。

猟友会の方からは、県外の方が、狩猟登録をした際、県から駆除隊への加入のお願いを通知して欲しい旨の意見が出されました。

適正捕獲の頭数は、イノシシの90頭を180頭へ増やすように県と調整中とのことですが、当市の現状を踏まえた設定にしておもらえるよう、引き続き県へ働きかけること、また、県外の狩猟登録者への通知について、県と連絡を密にしておくことを当局に要望しました。

文教厚生常任委員会

委員長 美智子 成美  
 副委員長 藤美 智子  
 委員 遠藤 好博  
 川田 山洋  
 東山 侯修  
 小山 口好  
 山田 喜昭  
 長田 喜昭  
 尾形 幸召

閉会中の継続調査として「子育て支援の取り組みについて」長野県下條村にて視察を行いました。まず、充実した子育て支援策の内容ですが、高校生までの医療費無料化、3歳児以上の保育料無料化、子育て応援基金の創設、小学生の給食費の70%補助、入学祝金の商工会商品券での支給、高等学校等通学費補助など、多岐に渡った施策を行っており、子育て世代へのバックアップに力を入れていました。



また、若者定住促進住宅の建築です。この事業は国からの補助金に頼らず、100%村の単独予算で行っていて、地域に溶け込む意思のある人を村独自に選定しているとのことでした。他にも多くの取り組みをして財源確保に努めている下條村は、身の丈に合ったお金の使い方をしていて、お金をかける事業と村民にお願いする部分の取捨選択をしながら子育て支援を含めた様々な取り組みを行っている様子が伺えました。

当市には当市にあつた方策を地道に模索する事が必要であり、今後更なる議論を重ねていく事を当局に要望しました。

# 議会活性化検討特別委員会

議会活性化検討特別委員会は、市議会の組織の在り方や議会運営の活性化・効率化及び議会活動の透明性向上の方策を調査・検討するため、11回の会議と、先進地視察を実施してきました。

委員会では、議員定数・報酬についての調査や委員の選出方法、予算決算の審査方法、タブレット端末の導入についてなど、23項目を検討項目として掲げ、検討を重ねるとともに、東京都の日の出町と立川市に向き、議員定数削減と議員報酬、ペーパーレスの取り組みや議会中継など、直接疑問点や課題などを調査してきました。

また、市区長会代表者との意見交換会を開催し、議員定数削減に対する意見を参考に委員会では議論を進めました。

このような調査検討の結果、各項目について結論を出しました。

議員定数は常任委員会の構成や広域な本市の地理的条件で市民の

意見を反映させるためには、現状維持が適当であるとの意見が多数を占め、16人とすることに決定しました。また、議員報酬は、財政面や議員定数も現状維持とすることを踏まえ、現状維持とすることが望ましいと決定しました。

検討項目では、新たに取り組むもの、継続して調査していくものとしては、

■ 予算決算の審査方法は、特別委員会あるいは常任委員会を設置し、全員で審査すること。

■ 意見交換会・報告会の開催については、実施方法については調査研究をし、議員改選後に開催する。

■ 政務活動費の導入については、導入に関しては見送るが、議員の研修に必要な旅費等の予算確保に努める。

■ 会議のインターネット配信については、配信を行う方向で配信する機器等の導入・改修の状況を調査しながら、進めて行く。

■ タブレット端末の導入（ペーパーレス化）については継続的に検討する。  
という結果となりました。

今回検討した項目については、一定の結論が出ましたが、今後更に議会活性化を図るためには、最善の方法を研究しながら継続して調査研究をしていくこととしました。



立川市議会を視察

総務産業常任委員会

委員長 喜夫 幸長  
 副委員長 秀夫 長部  
 委員 雄文 純公 明栄 一寅  
 白鳥 杉本 中本 友取 偉重  
 杉田 杉本 鷹尾 尾形



11月29日、委員会を開催し、付託された条例制定5議案、指定管理者の指定2議案を審査しました。

主なものを挙げると、議案第103号「市役所大鶴出張所会議室使用料条例制定について」は、仮出張所として運用していた大鶴出張所の正式な運用に伴い、出張所会議室の使用に関して使用料を徴収するため、必要な条例を定めるものです。

議案第108号「市行政組織

条例等の一部を改正する条例制定について」は、31年度の組織改編に伴い、部署の新設、部・課の名称変更、所掌事務の変更について、関連する条例を一括して改正するものです。

**Q** 室長は部長待遇か、また、現在経済課が1階にあるが、建設経済部の連携を考えると2階にあった方がいいのでは。

**A** 室長は、部長・課長どちらでも配置が可能であり、経済課については、観光行政を担っているため、市民等への対応を第一に考え、1階とすることにしました。

付託された7議案はいずれも全会一致で可決すべきものと決定しました。

文教厚生常任委員会

委員長 美智子 成美 久藤  
 副委員長 博昭 好昭 好喜 昭夫  
 委員 川田 山洋 山修 山口 喜巳 尾形 幸



11月29日、委員会を開催し、付託された5議案を審査しました。主な質疑・答弁等を要約してお伝えします。

**秋山簡易水道事業給水条例制定**  
 31年4月1日から秋山簡易水道事業の運用を仲間川簡易水道事業と統一し、それとは別に秋山簡易水道の料金の改定を行うもので、その後33年と35年に段階的に料金の引き上げを行うものです。

**Q** ここ数年の1㎡当たりの給水原価を見ると、変動が大きく、これを基に料金の単価を算出するのはどうなのか。

**A** 単価の上昇の要因は、2ヶ所の新しい浄水場が稼働し始めたことによるもので、今後も高い金額で給水原価が推移することが見込まれます。

**意見** 今後は、独立採算制なのか、あるいは市民の負担が大きすぎる場合は、市がある程度負担するのか等、詳細なデータを分析したうえで水道体系を作り上げていくべきである。

## 予算特別委員会報告

去る11月27日の本会議において、付託された案件について、11月29日、委員会を開催しました。

前回の定例会から、議会活性化の一環として、より充実した質疑を行うため、今まで各常任委員会へ付託していた補正予算の案件について、本委員会にて議員全員で審議を行い、慎重に審査した経過と結果を報告します。付託された案件は、30年度一般会計予算及び各特別会計予算の合わせて8件です。審査は、関係課に説明を求め、その後、質疑・討論・採決を行いました。

30年度一般会計補正予算第5号についての主な歳入として、純繰越金1億368万9千円や補助金等の確定に伴い3525万5千円、工事負担金が2396万円です。一方、歳出の主な補正内容は、総務費の移住者住宅取得等補助事業の申請件数増加による500万円、衛生費では、仲間川本管敷設工事等に742万9千円、原油等高騰によるごみ処理施

設の燃料費と光熱費に600万円、

農林水産業費では、桐原地区椿集会所の雨漏り箇所修繕のため、247

万4千円、教育費では国の経済対策として計上された臨時交付金を活用

した、中学校3校の空調設備の整備

のため、2億2616万9千円が

あります。なお中学校3校の空調設備

工事は31年5月より8月末までの

期間を予定しているとの事でした。

次に、特別会計の主な補正内容に

ついて審議し、当局提出8案件につ

いては、採決の結果、いずれも全会

一致で原案どおり可決すべきものと

決定しました。

## 議会だよりの四年間

議会だより編集常任委員会では、読みやすい議会だよりをめざして4年間活動してきました。

27年7月

一般質問の欄に写真・カットを入れるようにしました。

28年7月

高校生の傍聴を契機に「特別企画」記事を掲載しました。

28年8月

先進地の視察に行ってきました。

28年11月

あきる野市議会（東京都）予算・決算特別委員会は、市民に関心にある項目をピックアップしました。

29年2月

特集記事をはじめました。「子育て世代のママの気持ち」



これを機会に議会傍聴時の託児が導入されました。

■ 「うえのはらで頑張る人」シリーズも9回目となりました。

■ 次回の会議日程をカレンダー方式に改めました。

■ 一般質問の欄を改善しました。字数を減らし、空白を作って読みやすい紙面にしました。

29年8月

再び、先進地の視察に行ってきました。

島田市議会（静岡県）

★29年度県広報協会コンクールで奨励賞を受賞しました。

議会だより編集について、他県からの視察を受け入れました。

30年2月

安曇野市議会（長野県）

30年8月

丸亀市議会（香川県）

★30年度県広報協会コンクールで最優秀賞を受賞しました。

子ども・子育て世代を取り巻く環境について



遠藤美智子

**質問** 人口減少・少子高齢化が加速している現状、今後の取り組むべき課題は。

**答弁** 共働きの増加や家庭環境の変化、出生数減少が進む中、子育ての相談事が増加している現在、今後はアンケート調査をもとに支援事業計画の見直しをしていきます。

**質問** 前回のアンケート調査結果で、子育て中の親御さんの90%以上が「小児医療・小児救急医療の充実」を切望している。市立病院の今後の医療体制をどう考える。

**答弁** 県内で医師であり首長をしているのは私一人です。山梨大学病院へ医師の派遣の要請や、全国市長会では国に対しての要望等を行っています。今後も委託先である地域医療振興協会にも鋭意努力を要請し小児医療の充実に努めてまいります。

**質問** 31年4月より福祉保健部に子育て保健課が増設する予

定。母子保健分野と子育て支援分野が一体的に支援することのこと。「子育て保健課」開設時に、「子育て世代包括支援センター」の設置をするべきと考えますが、

**答弁** (32年度までの設置が努力義務となっている。) 母子保健から児童福祉へ切れ目のない連携の仕組みづくりにより、包括的な支援を進める「子育て保健課」が「子育て世代包括支援センター」としての位置づけとなります。

他に、若者・子育て世代への住宅補助事業等について質問しました。

他に、若者・子育て世代への住宅補助事業等について質問しました。



人口減少対策について



長田喜巳夫

**質問** 当市の合計特殊出生率、自然減、社会減の状況は。

**答弁** 出生率は20年〜24年の平均が1・22で県平均の1・39を下回り、最近5年の平均値も同様な傾向が予想されます。自然減は29年199人の減で社会減は29年248人の減です。今年4月の異動は16人増となり8年ぶりの社会増となっています。

**質問** 今後の具体的な取り組みは。

**答弁** 都心から近く自然豊かで魅力あるまちであることを発信し、移住施策を含めた、出会いから結婚への支援や妊娠・出産・子育てに対し経済的支援、環境づくりを実施して行きます。

**意見** 自然減、社会減、出生率をどう改善できるかが大きなポイントです。本気で取り組む手段として東京に上野原事務所を設置することを検討すべきです。そこから

多くの情報を出すことが可能となり、U・I・Jターに結び付けられます。同時に交流人口を増やす方向も見えてきます。

**質問** 最近の移住定住対策は。

**答弁** 30年6月に市内空き家見学ツアー、9月のオール山梨移住相談会、第14回ふるさと回帰フェアなどに参加しPRや移住相談を行ってきました。これらの活動により27年〜30年11月までに37件79名の移住実績となりました。

他に、情報通信基盤整備事業について質問しました。



一人暮らし高齢者について

**質問** 一人暮らしの人数は。

**答弁** 現在、市内のひとり暮らしの高齢者は1712人で、男性648人、女性1064人です。

**質問** 市のケアの状況・実態は。

**答弁** 30年11月1日に、市内郵便局と包括連携に関する協定を締結し、子供や高齢者等の見守り活動など協力していただいております。また、ひとり暮らしの高齢者が閉じこもりにならないよう、社会福祉協議会に委託して生きがいバスツアーを実施しております。

また、ひとり暮らしの高齢者を含み、顔が見える見守りとして、29年10月に誰もが住みなれた地域で安心・安全な暮らしの実現を図ることを目的として生活協同組合ユーコープと地域見守り活動に関する協定を締結し、見守りの向上を図っております。



川島秀夫

ほかにも、27年10月に都留信用組合、25年8月に生活協同組合パルシステム山梨と見守り活動等の協定を締結しております。

**質問** 超高齢化社会への対処は。

**答弁** 超高齢化に対処できる新たな事業を構築、また現在の各種サービスの見直し、地域を巻き込んだ見守り体制、住民主体の健康維持のための運動教室等を展開して行きたいと考えております。

他に、四方津駅バリアフリー、コモアブリッジ市道化認定について質問しました。

誰もが幸せに暮らせるまちづくり

**質問** 大型プロジェクトは一段落したが、人口減少が進むなかで市の将来像が見えないが、夢の持てるまちづくりについての取り組みは。

**答弁** 魅力ある雇用の創出、若者世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる、安全・安心な暮らしを守り、連携と協同で郷土愛あふれる街人をつくることを基本方針に定め、各分野ごとにさまざまな施策を展開しているところです。

**質問** 若者も参加しやすい、市民目線でのまちづくりへの取り組みは。

**答弁** 市民が参加して意見や提言ができる市民討論会の開催、秋山未来づくりプロジェクトの実施、市内移住者主催の廃校芸術祭や地域おこし隊が企画した「シャボン玉を音楽に乗せて」など若い世代が参加できる取り組みをサポートします。

**質問** 道路改良が進んでない。検討中で数年が経過している箇所が多く見受けられるが、計画的な道路整備への取り組みは。

**答弁** 老化した舗装路や水路等の改修、側溝や構造物などの設置、道路の舗装化や拡幅改良など軽微なものから数千万円以上のもので年間30件以上の要望があり、限られた予算の中で、要望に添えて事業を実施しています。

他に、財源確保、鳥獣害対策について質問しました。



白鳥純雄



同窓会支援事業補助要綱について



東山洋昭

質問 この事業の目的は。

答弁 移住の促進や出会いの創出や市を応援してもらうきっかけづくりです。

質問 企画課の所管は「移住及び定住の推進」であり、「市を応援してもらうきっかけづくり」としては他課と協議が必要と思うが。

答弁 協議は特に行っていませんが、市内への経済効果は出ているものと考えてます。

質問 要綱の中に、25歳以上60歳未満限定とあるが、一考する価値があると思うが。

答弁 3年間実施をしてみました。それらの検証も含め拡大がいいのか、またそれ以上の年齢の方々を対象に、別なものの方々の考え方の中での取り組みがいいのか、来年度以降に生かしていきたいと思

意見 同窓会は、ふるさと上野原の大きな応援団を結成するチャンスです。企画課の担



当も補助事業を申請した同窓会に必ず出席して、市のアピール等熱意を持って話をしていきます。当市への応援団を増やしていくことは誰も反対はしないと思います。この事業は企画課だけでなく、市全体で考えていくべきものの一つであり、そのことが経済的効果を含め、市全体を活気づかせる一つとなると思います。

他に、コミュニティ・スクール、活気ある中心市街地・商店街に再生するためについて質問しました。

小児科の午後の診療、入院体制整備を



川田好博

質問 「小児科の午後の診療がなく、喘息が悪化し、救急車で市外の病院に行ったことがある。高齢者、子ども、妊婦などの弱者が安心して住める医療体制を整えてほしい」という声がある。午後も小児科の診療ができる、小児科の入院体制を整えるということは、子育て支援からも重要な課題であると考ええるが。

答弁 非常に重要な課題であると認識しています。しかし、現在小児科の常勤医師はいません。山梨大学医学部に引き続き派遣を要請するとともに、指定管理者と協議して小児科医師の確保に努めていきたいと考えています。

質問 産科や小児科医師が不足している原因はどこにあるか。

答弁 国や県の政策が関係していると思われま

答弁 小泉内閣の時に医師の研修制度が大きく変わりました。

質問 医師の確保について国が責任をもってあたってもらいたいと考えています。

質問 地域医療振興協会本部に頼るだけでなく、病院自体が医療スタッフの確保に力を尽くすことが必要だ。市の思いを病院に強く要請することが必要と思うが。

答弁 そのようにしたいと思えます。教育費の負担軽減のために給食費無料化についてどう考えるか。

質問 給食費無料化についてどう考えるか。

答弁 負担軽減も必要と考えますが、現場からは施設・設備の改善の要求が強く、給食費無料化について、現在は研究段階と考えています。



防災・減災について



久嶋成美

質問

来年度に向けた機構改革で新たに危機管理室を設置するという考えを聞いたが、形だけ組織を作っても中身が伴わなければ何もならない。予定している内容について伺う。

答弁

想定外の事態が起こり得ることを踏まえた上で防災・減災対策を高めていく、その必要性を重要に感じています。災害に強い街づくりを進めるうえで、危機管理全般を統括し、市民の安心・安全への取り組みを強化する部署として、危機管理室を設置し、市の防災推進体制の強化を図っていくものです。

質問

やっとな危機管理に対する意識が高まってきたと、期待感を持っていますが、組織上の室長に職員を配置しても、防災に特化した知識を得るには、期間も短いし負担も大きいという心配がある



答弁

専門知識を持った職員の配置というのは必要だと思っています。外部の防災専門者からの指導やアドバイスを得ながら事務事業を進めるといった事も選択肢の一つとして考えられます。

上野原こども園、構内道路の違法性における市長答弁について



杉本公文

質問

園の構内道路約600㎡の使用権を個人に設定した事は、自治法第238条の第4項に反し違法であるとの以前の質問に対し、市長は「係争中の裁判で道路の違法性については市の主張が正しいと言う事で原告が告訴状から取り下げた。」と答弁をしました。そして、原告準備書面で取り下げられたと副市長の答弁でした。その後、原告から違法性について取り下げた事はないと表明を受け、該当する書面を拝見し、市長の答弁は事実と違う虚偽の発言だったのでは。

答弁

言うなら、その根拠は何か。取り下げた中身を答えるのは控えたい。この問題は本来議会ではなく裁判所で決着するものであり、これ以上質問に答える必要は全くないと思っております。裁判の中身について質問をしているのではない。原告が書面で取り下げたとの、市長答弁が事実と違うので聞いています。

答弁

その件につきましては、今までの経過を踏まえて虚偽のある答弁は一切しておりません。

質問

市長が原告書面について誤った答弁をしている。市が正しい事を認めて、相手はその違法性を取り下げたと



## 平成30年第2回臨時会議決結果等一覧表

### ◆全会一致の議案

番号	付託	案件名	結果
101	—	平成30年度一般会計補正予算(第4号)	原案可決
102	—	平成30年度市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決

## 平成30年第4回定例会議決結果等一覧表

### ◆賛否のあった議案

(討論は、委員長報告に対する賛成・反対です。) (◎賛成討論者 ●反対討論者 ○賛成 ●反対)

議案番号	案件名	付託委員会	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	久嶋成美	東山洋昭	小俣修	川島秀夫	杉本文	田中英明	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	鷹取偉一	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果
104	秋山簡易水道事業給水条例制定について	文教厚生	○	○	◎	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
111	市立へき地保育所条例を廃止する条例制定について	文教厚生	○	○	◎	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○

### ◆全会一致の議案

番号	付託	案件名	結果
103	総務産業	市役所大鶴出張所会議室使用料条例制定について	原案可決
105		職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	
106		職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例制定について	
107		議会の議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について	
108		市行政組織条例等の一部を改正する条例制定について	
109	文教厚生	市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
110		子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	
112	予算特別	平成30年度一般会計補正予算(第5号)	原案可決
113		平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	
114		平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	
115		平成30年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	
116		平成30年度市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	
117		平成30年度大目財産区特別会計補正予算(第2号)	
118		平成30年度島田財産区特別会計補正予算(第2号)	
119	予算特別	平成30年度秋山財産区特別会計補正予算(第2号)	原案可決
120	総務産業	農産物加工施設の指定管理者の指定について	
121		市営マス釣場の指定管理者の指定について	
122	文教厚生	市立上野原スポーツプラザ市民プールの指定管理者の指定について	同意
123	—	甲東財産区管理委員会委員の選任の同意について	
124	—	人権擁護委員候補者の推薦について	適任
125	—	人権擁護委員候補者の推薦について	
126	—	職員給与条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
127	—	平成30年度一般会計補正予算(第6号)	
128	—	平成30年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	
129	—	平成30年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	
130	—	平成30年度市簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)	
発議3	—	「議案第110号 子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定について」に対する附帯決議(案)の提出について	
発議4	—	市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	

※ 正式な議案名から(上野原市)を省略しているものもあります。

# 市民の声

## 私が思う上野原の未来

あなたが思う上野原の良いところは何ですか。あなたは上野原がどのような街になったらうれしいですか。

私が思う上野原の良いところの一つ目は、優しい人が多いということです。私の家の近所の人や地域の人はとても優しいです。近くの人だけではありません。小さいころ、上野原の町で困ったことがあったとき、近くにいた人が声をかけてくれてとても助かった経験が私にはあります。

二つ目は、景色や空気がきれいなところです。私の住む秋山地区は自然が豊かで、休みの日にはキャンプやドライブをする人がたくさんいます。山も季節によってぜんぜん違う姿になり、特に紅葉はとてもきれいです。しかし、課題もあると思います。それは人が減っていることです。秋山小もだんだんと児童が少なくなっています。なぜ人が減っているのか、私なりに考えてみました。

上野原には少し不便なところがあると思います。例えば、お店があまりないところです。

このように課題もある上野原ですが、私は、上野原に住む人みんなが温かい心と優しい心を持ち、もっともっと素敵な街になってほしいです。私も一人の上野原市民として、上野原を大切にしていきたいと思っています。



秋山小学校6年  
せきどもか  
関戸百栞

## 3 月定例会予定

平成31年定例会につきましては、新たに議員就任後、決定することになります。  
日程等につきましては、決定次第、市ホームページ等でお知らせいたしますので、ご了承ください。

日	月	火	水	木	金	土
2/24	25	26	27	28	3/1	2
				本会議 (初日)	議案調査	
3	4	5	6	7	8	9
	総務産業 文教厚生 常任委員会	議案調査	予算特別 委員会	議案調査	予算特別 委員会	
10	11	12	13	14	15	16
	予算特別 委員会	議案調査	一般質問	一般質問	一般質問 (予備日)	
17	18	19	20	21	22	23
	議案調査	本会議 (最終日)		春分の日		

## 一般質問傍聴 託児サービスを ご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局(62-3344)へお申し込みください。

※通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

## 編集後記

4年間の任期の最後の議会となりました。この4年間の議会だより編集の中で一番のトピックは県広報協会から最優秀賞をいただいたことです。「議会が何をやっているのかわからない」という市民のみなさんからの声を厳しく受け止め、少しでも、そのような声をなくすために努力をしてきた結果です。まだ、その道を踏み出したばかりです。市民のみなさんの声こそ、議会を活性化する一番の原動力です。市政を身近にすることが、上野原市の将来を左右すると思っています。「うえのはらで頑張る人」「市民の声」などへのご協力に感謝しています。6人で進めてきた議会だよりの編集作業ですが、新しい議員の方に引き継ぎます。(川田)

議会だより編集常任委員会  
委員長 東山 洋昭  
副委員長 川田 好博  
委員 白鳥 純雄  
委員 遠藤美智子  
委員 久嶋 成美  
委員 川島 秀夫

